

9 将来にわたる実質的な財政負担

将来にわたる実質的な財政負担（地方債現在高+債務負担行為額-積立金現在高）は、地方債現在高は増加したものの積立金現在高の増加により、前年度より29億1,980万2千円（△0.5%）減少し、5,333億728万3千円となった。

第14表 将来にわたる実質的な財政負担の状況 (単位：百万円、%)

区分	平成24年度	平成23年度	増減額	増減率
地方債現在高 A	640,755	635,917	4,838	0.8
債務負担行為額 B	70,304	69,372	932	1.3
積立金現在高 C	177,752	169,061	8,691	5.1
将来にわたる実質的な財政負担 A+B-C (対標準財政規模※20年度から臨時財政対策債発行可能額を含む。)	533,307 (1.43)	536,227 (1.43)	△2,920	△0.5
	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は、1.54	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は、1.55		

第11図 将来にわたる実質的な財政負担の推移

